

市立ひがしなえぼ幼稚園の 閉園計画(2025年度 全市9園を5園に)

札幌市は、2005年、全市17園あった市立幼稚園を各区1園(清田区を除く9園)にし、「各区1園は必要最小限である」としていたにもかかわらず、さらに縮小の計画です。障がいのあるなしに関わらず、ともに学ぶ教育を積極的に行っており、卒園後の小学校とのつながりも大切にしてきました。区に1園のため、保護者は区内幅広い地域から送り迎えをしています。

幼稚園教諭を増やし、送迎バスの導入などを検討し存続すべきです。

敬老優待乗車証(敬老パス)の見直し案

敬老パスは、値上げや制度縮小の見直しではなく、拡大することを求めます。

札幌市の70歳以上の高齢化率は20%です。高齢者が、免許を返納したくても交通環境を考えると簡単にできない場合も少なくありません。

札幌市は調査をしていませんが、名古屋市の調査では「1回敬老パスを使うと1400歩も歩数が増える。敬老パスを使って外出した高齢者の買い物や飲食などによる直接の経済効果は316億円～500億円に及ぶ」という結果が出ています。

市民からは「敬老パスをJRやタクシーでも使えるようにしてほしい」という要望がでており、制度の拡大をすべきです。

札幌市の見直し計画 利用者負担増許さず、暮らし守って!

学校給食

値上げでなくて無償化を

札幌市は、2020年4月から市立小中学校の給食費の値上げを発表しました。一人当たり年間で小学校2,400円、中学校3,000円の負担が増えます。子ども2人の場合、5,000円前後の値上げです。

全国では、給食費の無償化や一部助成をする自治体が広がっています。札幌市で小中学校の給食費無償化に必要な財源は75億円、せめて半額にするには37.5億円です。家計を直接応援する給食費の無償化は、子育て支援として最も効果的な施策です。



老人福祉センターの「お風呂」は 入浴回数減らさないこと

市内各区に1館、東区は栄町地域にある老人福祉センター。

札幌市は「受益者負担の適正化」を理由に、2020年10月からお風呂の利用日週5日から3日へ減らそうとしています。

入浴料が無償だった2009年のお風呂の利用者は、10区で約25万7千人でしたが、有料(200円)になった2010年以降は減り続け、2018年には約5万2千人と激減しています。無料に戻し利用者に喜ばれる老人福祉センターが求められています。



誰もが安心して暮らせる東区に

丘珠空港(代表質問より)

「丘珠空港の利活用に関する検討委員会」は2020年春に空港案をまとめるとしていますが、新幹線が札幌延伸されれば、函館便は減少の見込み、滑走路を延長する場合の費用は最大550億円と試算されています。空港の利活用について目的と見通しが不透明です。

将来を見据えたまちづくりこそ

丘珠空港地域から北に向かった北丘珠、中沼西地域には今から47年前に将来の開発を見込んで都市が計画決定された道路があります。

周辺は、市街化調整区域のままとなっており、地域に必要な道路も整備されていない状況です。震災が起こった時、避難道路となるように整備してほしいという住民の要望は放置されています。将来にわたって地域住民が開発から取り残され、不便を強いられることがあってはなりません。



太田 秀子 委員長

日本共産党札幌市議会議員

太田 秀子

市議団政審会長

厚生委員会委員長

福祉灯油札幌でも実施を

1月、札幌社保協など5団体は、秋元市長に厳冬期の北海道に欠かせない灯油への補助「福祉灯油」の実施を要望しました。

同席した太田市議は、「暖房は、夜9時までと決めている母子家庭の受験生は、いくつも重ね着をして勉強しています。このような実態が多く寄せられており、福祉灯油の実施と灯油代を無利子で貸し付ける『あったか応援資金』を実施すべきです」と求めました。



交通事故から 子どもの命を守る対策を

札幌中学校、伏古小学校の通学路で、「何年間も連続し、危険な交差点の改善を求めているが改善されない」という実態を聞き、国の通学路点検を点検で終わらせることなく、改善のための費用をつけるべきであると質問しました。

国は信号機などを設置する費用の交通安全施設整備事業費を10年間で77億円も削減していることを指摘。「国の補助事業費を増やすよう求め、札幌市は独自の予算で交通事故から子どもの命を守る対策をとるべき」と要望しました。

平和行進



市政こんだん会



朝の街頭演説



太田秀子事務所だより

2020年春号

札幌市東区伏古9条3丁目3-2

電話 011-786-0011

FAX 011-792-8171

ご相談・ご意見ありましたら事務所までお寄せください